

1 【活動の趣旨】

校区内の『多様な施設』を訪問して地域の方にお話を聞き、SDGs の観点から将来に渡って住みやすい町について考えたり、他の町を訪問して日本の伝統文化を取り入れた街づくりの様子に触れたりしてそのよさに気づく。そして将来的に自分たちにとって住みよい町づくりに生かせる内容を考える。

2 【特徴的な活動内容】

- 『伝えよう！新中フィールドワーク～みんなが住みやすい街を目指して～』

1年生では、SDGs の17項目の中から『健康と福祉』

『産業と技術革新』『安全・安心』『災害対策』の項目について、地域の方々を訪問してお話を聞き、良さや課題を見つけ、自分たちが将来的に住み続けたいくなるような計画を考えた。また、地域・通学路等における危険箇所も、実際に見て・聞いて・考えることにより住みよい町づくり像を描くことができた。



【野村交番インタビュー】

- 『京都校外学習～きょうを楽しみ古都を知る～』

2年生では、寺社仏閣の歴史について現地で学ぶというコンセプトの下、英語を使って海外からの観光客に「日本について」尋ねてみよう（英語科）
モデル都市の京都で環境教育を学ぼう（理科）
歩いた時間と距離を関数で表そう（数学科）
京都の郷土料理を見つけよう（家庭科）等の目標を地元とは違う町の様子をみて歩き将来像を考えながらゴールを目指した。



【街角英語インタビュー】

- 『持続可能な社会をめざして～環境をよくする第一歩～』

草津市資源循環推進課の方に来て頂き、草津市のゴミ袋有料化からその意義や大切さを学び、3R・分別の必要性和大切さの講義していただいた。2時間の学習の後、2年生でも取り組んだ『新堂学区お掃除プロジェクト』の第2弾として出向き「分別を意識した回収」を行った。



【講義の様子】

3 【実施に当たっての工夫】

フィールドワークでは、地域における公的施設【交番まちづくりセンター・老人福祉施設・今昔の商店等】に出向き、『多くの人に直接インタビュー』して今の町の様子を多面的に捉え、事後学習でまとめ、訪問先に報告した。1年生も2年生も事後のまとめ学習では、ICT機器を用いたプレゼンテーション・文書作成を行うことができた。3年生では上記のように継続した活動を行うことができた。



【お掃除プロジェクト】

4 【事業の成果】

直接話を聞いたり実際の活動を行なうことで『地域の良さと課題についての認識』ができた。地域の一員である自覚が生まれ、自ら発信することもできた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

▲次年度からのスクール ESD との内容の精査と連携

▲学活・総合的な学習の時間・地域協働合校・スクール ESD との学習内容の統一性